

日本山岳協会創立50周年記念

『安全登山の講演と映画会』宮城大会報告書

山形県山岳連盟会長 清 野 孝

- 1、期 日 平成22年10月9日（土）～10日（日）
2、場 所 宮城県栗原市志波姫『この花さくや姫プラザ』ホール
3、出席者 日山協 本木副会長 尾形事務局長
講 師 岩崎元郎
東北六県 青森・岩手・秋田・山形・福島の各会長・副会長・理事長
開催県 宮城岳連 浜田会長・吉田副会長・斉藤理事長外総勢 70名

4、日 程と概 要

10月9日（土）

12時 受付 13時 開会式

日山協 本木副会長 宮城岳連 浜田会長 栗原市 佐藤市長挨拶

13時15分から14時45分 基調講演

演題『登山の安全・安心を考える』講師 岩崎元郎さん

岩崎さんが登山を始めた動機や社会人山岳会で登山の基礎を学ばれたこと、海外登山でニルギルに遠征隊を組織し登山されたことなど、岩崎さん独特の語り口で講演された。

14時45分から15時45分 山岳遭難防止に関する映画会が開催

『遭難 谷川岳の記録』が上映、登山者の増加とともに遭難者も増えた。内容は遭難のもたらす捜索、救助、家族の気持ち、社会的な影響など遭難の悲惨さを物語っていた。

更に平成20年岩手・宮城内陸地震、栗原の記録が上映された。

15時45分から17時 アトラクションとして福島男性合唱団による『山の歌』が披露された。合唱団メンバーに尾形福島県岳連会長も所属

17時 会場での行事が終了し、雨の中明日の天候を気にしながら宿舎『ハイルザーム栗駒』に移動、途中暗闇の中地震で復興された道路や山肌を見て宿舎着、懇親会は岩崎講師を囲んで盛況に行われた。

10月10日（日）

朝から懸念されていた天候も徐々に回復し、ガスが上がり素晴らしい紅葉が広がる、登山口となる『いわかがみ平』駐車場に到着、簡単な準備運動のあと東栗駒ルートに登る、昨日までの雨により沢筋からの流水が多く足元を気にしながら山頂を目指す。

山頂着11時20分昼食、記念写真撮影後中央コースを下山、秋晴れの良い登山が堪能でき途中岩崎講師の歩行術を伝授されながら下山、宿舎の風呂にて汗を流しさっぱりしたところで、錦秋の栗駒山に別れを告げ帰宅となった。

5、出席者 山形岳連 会長 清野 孝 事務局 長谷川恵子 一般参加者 1名 計3名
青森岳連 服部理事長 秋田岳連 佐々木会長 佐藤副会長（日帰り）
岩手山協 高橋会長（日帰り） 福島岳連 尾形会長（日帰り） など

